

消防士ってどんな仕事？

火災や事故などのさまざまな災害の現場で人の命を助け、私たちの暮らしを守ってくれる消防士。学校の授業で消防署の見学をしたことはあるけれど、消防士の仕事がどれだけ大変なのか気になった子ども記者は、三条市消防本部の消防士の皆さん取材しました。

3人の消防士が教えてくれました！

仕事内容

24時間交代で消防署に待機し、119番通報を受けると現場へ行き、人の生命や財産を守るために活動します。仕事は大きく分けて「警防・救助・救急・防災」の4つです。

警防 消防車で火災現場に行き、放水で火を消します。

救助 災害や事故の現場で逃げ遅れたり、建物の下じきになった人を助けます。

救急 救急車で現場に行き、急病人などの応急手当を行い、病院へ運びます。

防災 火事の予防や災害の被害を少なくするために、建物の検査や、防災訓練の指導をします。



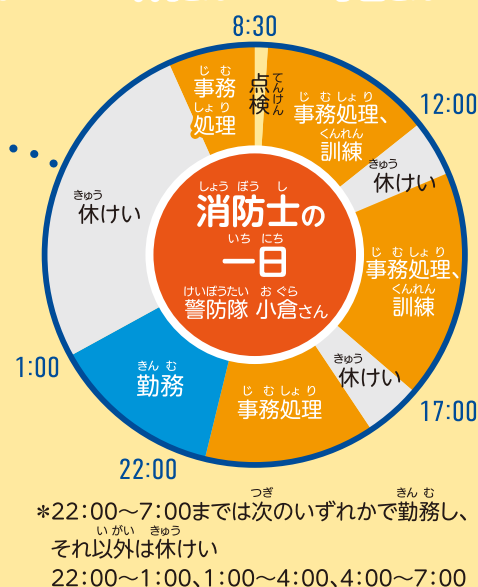
小倉さん



本間さん



小田さん



消防士に聞いてみた！

①なぜ消防士に？ ②やりがい・魅力

① 小倉さん 2004年の7.13水害で被災しました。そのときに救助活動をしていた消防士の姿を見て、消防士になりたいと思いました。

② 市民の方から感謝の声をいただけることが魅力です。

① 本間さん 7.13水害で自宅が床上55cmまで浸水しましたが、消防士の人が温かい言葉をかけてくれて、そんな消防士になりたいと思いました。

② 火災になると、重たいものを身につけて5時間ほど活動するため、大変なこともありませんが、それに立ち向かうところが魅力です。

① 小田さん 7.13水害で家族が逃げ遅れ、消防士の人に話したら、助けてくれました。その姿を見て、消防士になりたいと思いました。

② 消防士は病気やケガをした人を一番最初に助けることができるのが魅力です。

子ども記者も体験してみた！



病気や事故などで心臓が止まってしまった人を救うために、心臓マッサージなどの手当を行います。今回は救急車に乗りながら、2分間の心臓マッサージにチャレンジしました。

手がいたすぎる！



2分やっただけでもつかれるのに、本番では病院に着くまでゆれる車内で長い時間やらなければいけないので、すごいなあと思いました。

重すぎるー！！



防火衣を着させてもらいました！

火災から身を守るために、火の熱でも燃えにくい生地で作られていて、服やくつも合わせて約20kgの重さです。その上から、30kgもある空気ポンベをかついでいます。

背中にかついだポンベは、ランドセルとくらべ物にならないくらい重かったです。消防士さんは大変だなと思いました。

なんと47秒の早さで装着完了！



ふだんの消防士の仕事を一部体験させていただきました。



すごい水圧で飛ばされるー！



火災が発生したら、いち早く火を消さないといけません。消防士は80kgもあるホースを長い時間持ち続けます。(30秒で家庭用のお風呂がたまるくらいの水量！) 今回は水の量を少なくしてもらい、放水を体験しました。

火事の現場では、あせったりこわかったりするのに、大量の水が出て勢いがすごいホースを一人で持つのは大変だし、すごいと思いました。

私たち小学生でも今からできること

- 私たちも一人では火を消したり、人を助けたりすることはできません。みんなで協力するから災害に立ち向かうことができます。いろいろなことを勉強し、先生や両親の言うことをしっかり聞いてください。
- 早寝、早起きなどの規則正しい生活を送ることは、将来どんな仕事にも役に立ちます。
- 何かあったら大人を呼んだり、声をかけたりなど、なんでもいいので、勇気を持って行動してください。

消防士が教えてくれました！



消防士になりたい人が増えとうれしいです！

